

# むさし野

No.40

事務局 〒350-0822 川越市山田912-7 石井方  
電話 049-225-2466  
E-mail:ishii.0525@r8.dion.ne.jp  
ホームページ: <http://www.longview.jp/musashino/>

## 今年も23名が出席 2011年度定期総会 震災の年、今後の政治・経済を学ぶ



総会参加者での記念撮影(6月5日)

法政むさし野の2011(平成23)年度定期総会が6月5日(日)13時30分からさいたま市民会館「うらわ」において開催されました。

今年も23名と、たくさんの会員の参加となりました。

第1部・総会は、菅井幹事の司会で始まり、開会のことば(鳥海幹事)、会長挨拶が行われた後、議長に石井会長を選出した後、議案の審議に入りました。第1号議案「10年度活動報告について」(筑井副会長)、第2号議案「10年度収支決算及び会計監査報告について」(鹿野幹事)、第3号議案「11年度活動方針について」(石井会長)、第4号議案「11年度予算について」(鹿野幹事)の各議案について報告と説明が行われました。議案とも満場一致で可決・承認されました。その他の議題はなく、宇佐美幹事の閉会のことばをもって議事を終了しました(会長のあいさつは2頁に掲載)。

第2部・講演会は、時事通信社、解説委員石井まさし先生をお招きして『日本政治、経済の行方』と題する講演を行いました。特に今年は東日本大震災や福島原発事故があり、政治経済も混迷を深めていますので、大変参考になる講演会でした。

内容は以下の通りです。

### 石井氏の講演『日本政治、経済の行方』

2011年6月5日、定期総会の後、標記の演題で時事通信社解説委員の石井正先生に講演をお願いしました。「産業立国、貿易立国として生きて行かなければならない日本の方向性を探る」の副題通り、難しいことを解りやすく、縁遠い話も身近な問題に、時々寄り道をしながらも楽しいお話で、後の質問も活発に行われました。以下、要約してご報告いたします。

経世済民とは世の中を治め、人民の苦しみを救うこと。日本に生まれて良かったと思う社会は経済が安定す

ることが大切である。

#### 1 私たちの責任

2005年小泉純一郎の小泉人気により、自民党296議席で圧勝、官から民への言葉通り、郵政民営化、規制緩和の結果、格差は拡大し、非正規雇用者が増大した。2009年社会保障のマニフェストにより私達の投票行動は民主党に308議席を与えるが2010年参議院戦では自民党が勝利するというように国民の考えがぶれている。

#### 2 大きな政府、小さな政府

100兆円を超える予算で良いのか、特別会計とは一度使えばなくなるお金である。大きな政府は社会を安定

し、税金の納付金が増えるが競争原理が働きにくくなる。小さな政府は格差が広がり農協すらなくなる。私達は両方の特徴を良く吟味する必要がある。

### 3 空洞化

企業が海外に移転・進出すると就職の機会が少なくなり社会が不安定になる。

### 4 エネルギー

(福島原発の事故を受けて) 原子力発電をやめようという意見が多くなってきたが、日本の産業や国民の生活

のためには電力を不足させることができない。そこで問題になるのが自然エネルギーや原子力でない他のエネルギー源ということになる。

自然エネルギー＝太陽、水力、風力、波力は安定しない電源である。メタンハイドレートは燃える氷といわれ、日本近海には100年分ある。シェールガスは頁岩(けつがん)、泥岩でアメリカ、カナダが有望である。私達は経済のことも考えながら、2020年までに原発を廃止できるよう努力する必要がある。(まとめ：鳥海)

## 同窓と会って話をしましょう

会長 石井 満

本日は「法政むさし野会」平成23年度定例総会にご出席頂きまして誠に有難うございます。本日ご出席頂いた会員は23名です。現在会員は46名です。ですから丁度半数の方がご出席されたこととなります。昨年の会費納入者は43名で、率にすると93パーセントです。本年度新入会員は3名です。多分この様な会は法政大学だけでなく他のどの大学の校友会にも無いと思います。

校友会または同窓会と名が付く会は強制的な会は別として、会費納入率は25～30パーセントで総会

出席率は20パーセントが精々です。勿論、地理的な条件もありますが。その面からしても「法政むさし野会」は良い会だと思います。

役員会における忌憚りの無い意見と実行が多くの会員方々の賛同を得ているものと思います。今日ご出席された皆様に、一つお願いがございます。それは、色々な方々と話をさせて頂きたいということです。お帰りの際に今日は誰とも話をしなかったということが無いように、一人でも多くの同窓と話をして下さい。本日は有難うございました。

## 会員の声

### 「会への連絡」はがきから (敬称略)

**小林 薫** 妻が体調不良の為、欠席します。申し訳ありません。先日、用事で帰省の際、東北自動車道、秋田自動車道を経由したのですが、途中の福島県路面段差の表示がたくさん見られ、また路肩においても震災の跡が生々しく残っている光景を目にしました。高速を降りてからの道路の規制も多く見られ、2ヶ月過ぎた今も大変な状況であることを思い知らされました。途中、ボランティア活動をしてきて帰る車を何台も見かけ、必ず復興はそう遠くない内に叶うと信じ、帰ってきました。みなさんによろしく。9月には上里で新そば会はいかがですか。

**竹村英雄** 当日は先約の会合に出ることになっていますので失礼致します。

**武井仁子** いろいろな会に出席できずとても残念です。が、気持ちのよりどころとしておりますので、どうかよろしく願いいたします。

**下島キヨ子** 群馬県民になって7年目になります。日頃の生活は駅近くのスーパーで何とか間に合わせております。月2回のNHK学園オープンスクール(仏画講座)の帰りに本屋さんへ寄るのが楽しみです。5月の仏画仏像彫刻教室の合同展、6月は公民館で

の水墨画展と陶芸展(私の場合は粘土遊び)と何となく忙しい日を過ごしています。健康で生活できることに感謝しています。

**鳥海美智子** 「むさし野」No.39も予定通りに発送下さり感謝しております。表紙の写真はとても良い写真でした。まるで現地の人のように似合いますね。

**武井基洋** 名前のみで申し訳ありません。会費2,000円払込みします。

**筑井信明** 2年前に60歳になった時にどう自分の生活目標を立てるかという事を「むさし野」に書いています。何とかその時の考えに近い形でやれそうで安心しています。

**宇佐美善夫** 法政大学地理学会総会が飯田橋法政大学本校にて行われました。20数年間役員をして参りましたが、今回で役員を辞任致しました。若い方の時代です。青春時代の法政大学学生時代の夢を見ながら。紹介 法学部同級生(六角会メンバー) 藪本 **菅井 肇** 病院関係に勤めて12年目で初めて辞令を受けました。毎日研修で分からない事ばかりで学生時代に戻った気分です。ノートにまとめるのが大変ですが、いままで通りでのマイペースでやっています。

けないという事に気付いた今日この頃です。総会で皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

**大川成一** 法政むさし野会ではお世話になります4月から「離職」になり人生のギアチェンジをローにしたままで静かな生活になっています。また雑用があり予想外に暇ではありませんが、同窓会の活動を一層続けたいと切望しております。今後もよろしく願いいたします。

**内田吉久** 校友の佐々木康雄氏（宮城県大崎市）通教を無事卒業の努力家無事との連絡。私事です昭和39年度卒（浦商）の教え子仙台市若松区荒と岳家屋全壊津波の中無事生還の知らせで喜んで、知人関係全員無事。

**横井時弘** 3/13日頃より休みなしで仕事をしております。ここところへ来ていくらか楽になりましたので今回是非参加したいと思っております。

**勝山義弘** 遅れて申し訳ありませんが、総会参加させていただきます。

**浦野美恵子** 実家へ行く用が出来た為、今回も欠席となります。

**飯田桂子** 「むさし野」No.39ありがとうございました。石井会長の変身、お見事な写真でございます。還暦をお迎えし、会社を卒業されたとのこと、おめでとございました。「読み聞かせ」の桃木さんの感想大変満足しております。

**押切次男** 仕事の関係でなかなか参加できなくて申し訳ありません。今後機会がありましたら出席させて頂きたいを思います。よろしくお願い致します。

**織田すみれ** ご無沙汰しております。なかなか都合がつかず出席できませんが、皆様によろしくお伝え下さい。

**神原洋子** 「デザインノート」を展示させていただきます。

**吉田登美子** ご無沙汰しております。今年3月10日青信号渡る時不注意から転倒し、即入院。4月23日退院、大地震は病院のベットでの体験でしたが、毎日のニュース報道に涙しておりました。

## 震災ボランティアツアー体験記

大川 成一（草加市）

3.11大震災から日本は、文字通り激震となっていました。

当時は役所勤めで、3月12日から非常配備となりました。因に、約37年勤務で初めての非常配備でした。その後の状況は、明らかになるにつれ「悲惨」でしたが、義援金だけでなく幾らかでも自分なりの支援を思案していました。

実は、1995年の阪神大震災に役所のルートで西宮市で「理髪ボランティア」をした経験がありましたが、前回と違い現在は加齢と「無職」のためルートがなくボランティアをためらっていました。しかし、テレビで「ボランティアツアー」が紹介されているのを見て、共鳴しました。

宿泊施設や現地でのボランティア活動もセットされ、交通手段（バス）も含めてのパッケージツアーになっていますので、身ひとつで参加できる気軽さと感じました。逆に、人気がありキャンセル待ちの状況ということでした。それに格安で合計3日間で1万8千円でした。自分が最年長と思いましたが、「年長組」（どうみても年金受給者世代の4人部屋の1員でした）の1員なので安堵いたしました。

若い人の参加が多かったのですが、挨拶もできて参加者の若者が心強く感じました。時期は8月17日から19日まで宮城県気仙沼市の被災地を目の当たりにしてきました。

阪神大震災と様子は異なっていました。阪神大震

災では倒壊家屋の惨状でしたが、「瓦礫処理」で気仙沼市小泉地区に着いた時に、高台の家屋以外に家屋は土台だけでまさに「洗い流されて」いました。気仙沼線の高架が、地上から10メートルくらいに見えましたが、そこに家屋の残骸が残っていたのが印象的な景色でした。活動内容は、重機でならした畑の瓦礫回収と分別処理でした。

午前中の2時間の作業を終えて廃墟での昼食でしたが、忘れられない一時でした。小用で地元の小学校に行きましたが、まだ被災者の方の避難所になったままでした。瓦礫の撤去での感想は、「気の遠くなる（分量）」と言う率直な意見がありました。昼から雷雨になり、作業が中止になりました。そこで、ボランティアの場所で救援物資（衣服）の整頓と「ボランティア募集」の討論がありました。同行したボランティア（37名）を二つに分かれての活発な討論でした。

議論の中では「（ボランティア参加のためには）金銭的な問題や、受け入れ団体の認知度や信頼度が重要、行政機関などの連携が必要等」の意見に「目から鱗」とのボランティア受け入れ団体の担当が答えていました。また、被災地の現状の広報と支援の要請がありました。

宿泊先の鳴子温泉では、泉質が異なる温泉にも入浴でき「心地よい疲労」の解消になりました。

# 次回の見学会 『蕎麦懐石と塙保己一記念館』

## 11月6日（日）午前10時30分集合

埼玉県北部の上里町に会員の小林薫さんがいらっしゃいます。今回はこのあまり知られていない上里町を訪ねることにいたしました。一度にではありませんが約4キロ位歩きます。昼食は予約があった時だけ営業するという、小林さんの蕎麦打ちの先生高橋さんの工房を訪ねます。講演もお願いしています。

■日時：11月6日（日）

JR高崎線・神保原駅 午前10時30分集合

■会費：5,000（蕎麦懐石、現地乗り物代）

■予定コース

JR高崎線・神保原駅⇒上里町立郷土資料館⇒陽雲寺⇒塙保己一旧宅⇒記念館⇒たかはし工房⇒JR神保原駅（17時頃）

■お申し込みは10月14日（金）まで石井宛。  
（参加者には詳しい日程を後日送ります）

・電話・FAX：049-225-2466

・Eメール：ishii.0525@r8.dion.ne.jp



塙保己一旧家（上）と、蕎麦のたかはし工房前での小林さん（右）

はなわ ほきいち

**塙保己一**は、延享3年（1746年）武州児玉郡保木野村（現在の埼玉県本庄市児玉町保木野）に生まれた江戸時代の国学者で、目の不自由さを克服して『群書類従』の編纂という現在も引き継がれている壮大な事業を始めた郷土の偉人です。7歳の春に失明、15歳（13歳とも）で江戸に出て、雨富須賀一検校（検校とは盲人の最高位の位）の門人となり、さまざまな書を学び、安永8年（1779年）、『群書類従』の出版を決意し、検校の職に進むことを願い、心教百万巻を読み、天満宮に祈願します。幕府に土地拝借を願い出て和学講談所を開設、会読を始め、ここを拠点として記録や手紙にいたるまで様々な資料を蒐集し、編纂したのが『群書類従』です。この『史料』編纂の事業は明治維新や太平洋戦争を経て、引き継がれ、現在も続けられています。日本史を勉強した人ならご存じの東京大学史料編纂所発行の『大日本史料』です。

## むさし野会「会報」を読んで

文学部教授 長井純市

『むさし野』第37号、同第38号をご恵贈いただき、ありがとうございます。会員の皆様方の随筆、お写真等を拝見し、楽しんでおります。

今回は第38号掲載の色川大吉先生に関するエッセイに目がとまりました。色川先生は、私の模範とする先生の一人です。足を使って史料を探索、収集すること、史料を丹念に読み込み、史料から何が汲みとれるかについて十分に思索すること等々、私は色川先生から多くのことを学びました。今、ちょうど、色川先生の自分史四部作の最終作『昭和へのレクイエム』を読んでいるところです。何より、色川先生

が自分の短所や弱点を率直に書き記し、かつまた何事にも正面から取り組むところに脱帽、最敬礼をしています。

会員の皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。略儀ながら、書中をもってお礼に代えさせていただきます。（平成二十三年二月五日）

### 「新入会員（敬称略）」

田邊洋子（文・史卒）鳩ヶ谷市  
加藤次夫（文・史卒）さいたま市  
中野次雄（文・史卒）川越市

### 「退会者（敬称略）」

清水 健

### 「ご寄付」

長井純市（文学部教授）様 切手 2000円

### ◆あしがき◆

太陽系外にも「もうひとつの地球」があるという話に驚いたのは最近のこと。今では太陽系外で1200個もの惑星が発見されています。天災、人災、政治の混迷、経済不況を忘れ、しばし名月に見とれています。またお会いして、夢のあるお話がしたいです。

（鳥海）